

各 施 設 長 殿

心身障害児総合医療療育センター  
所 長 北 住 映 二 (公印省略)

## 第 14 回 障害児者のプール指導講習会 開催について

標記の講習会を下記により開催いたしますのでご案内いたします。医療型障害児入所施設・療養介護施設・医療型児童発達支援センター等の職員で、プール活動に携わるまたは関心を持たれる職員に受講希望者がおられましたらご推薦いただけますようお願いいたします。

### 記

1. 目 的 本講習会は、肢体不自由児及び重症心身障害児(者)のプール活動に携わる、または関心を持たれる職員に、安全で楽しいプール活動を行うために必要な知識と技術の向上を図ることを目的とする。
2. 講習期間 平成 28 年 5 月 25 日 (水) ～ 5 月 27 日 (金)
3. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
4. 定 員 30 名 (1 施設 2 名まで)
5. 受講資格 医療型障害児入所施設、療養介護施設、医療型児童発達支援センター等に勤務し、直接、プール活動に従事している、または従事する予定の職員。
6. 受講費 18,600 円
7. 添付書類 ① 講習会要綱 別紙 (1)  
② 講習科目・日程 別紙 (2)  
③ 受講申込書 別紙 (3)
8. 申込方法 受講申込書を平成 28 年 4 月 21 日 (木) までに FAX または郵送で送付  
(先着順に受付、定員になり次第締切)  
送付先 〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-1-10  
心身障害児総合医療療育センター 療育研修所  
FAX : 03-3959-7648
9. お問い合わせ 療育研修所 電話 03-5965-1136(直通), FAX 033959-7648(直通)

別紙（1）

第14回 障害児者のプール指導講習会 要綱

1. 講習期間 平成28年5月25日(水) 9:00 (受付8:00~8:50) ~ 5月27日(金) 16:30
2. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所  
住所：東京都板橋区小茂根1-1-10  
交通：東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」3番出口より徒歩10分  
所要時間の目安は、羽田空港からは120分、東京駅からは60分。  
尚、車 バイクでの来所はご遠慮下さい
3. 定 員 30名（研修所宿泊人数は個室使用で17名）
4. 講習内容 講習科目、講師名等は 別紙（2）のとおり
5. 経 費 1) 受講費 18,600円（消費税 1,377円を含む）  
2) 宿泊費 1泊 3,780円（消費税 280円を含む）  
締切後に送付する「受講承諾書」の合計金額をお振り込みいただきます。  
振込手数料（返金の場合も）の負担は参加者（施設）負担とします。  
キャンセル（変更）の場合の返金について  
5月23日(月)までの申し出は返金します。以後は返金しません。
6. 宿 泊  
研修所の宿泊室（17室）は個室使用とします。宿泊を希望される場合は申込書の欄に必ず記入して下さい（講習会最終日の宿泊はできません）。
7. 食 事  
昼食は、受付時に弁当の注文をお受けします（1食440円）。  
宿泊に関する食事への対応はしておりませんので各自で用意してください。ある程度の自炊可能な設備（冷蔵庫・電子レンジ・クッキングヒーター・湯茶等）はあります。
8. そ の 他
  - 1) 期間中を通して受講出来ること、また、受講に際して健康上支障のないこと。
  - 2) 講習会初日5月25日(水)の受付は8時00分より8時50分まで。なお、宿泊される方で、前日5月24日(火)に来所の方は16時~17時に到着して下さい。  
17時より、宿泊・施設使用に関しての説明をいたします。  
(時間内にお越し頂けないと宿泊できない場合がございます)
  - 3) 携行品：健康保険証、水着（洗濯機・脱水機あり）、サンダル、羽織る物（プールとの往復）  
宿泊者は他に洗面具、タオル、寝衣、スリッパ、（石鹸、シャンプー、ドライヤー、ティッシュ、目覚まし時計あり）。
  - 4) お分かりにならないことは、下記にお問い合わせ下さい。  
療育研修所 電話 03-5965-1136(直通)、FAX 03-3959-7648(直通)

第 14 回 障害児者のプール指導講習会 科目・日程

2016 年 5 月 25 日(水) ～ 5 月 27 日(金)

	午 前	午 後
5/25 (水)	<p>8 : 50～9 : 00 オリエンテーション</p> <p>9 : 00～11 : 30 (2.5) 障害児・者のプール指導 1. 総論・基礎 2. 安全な運営のために 東京女子体育大学 教授 覚張 秀樹</p> <p>11 : 40～12 : 10 (0.5) QOL の拡大- 障害者スポーツへの発展 心身障害児総合医療療育センター 理学療法主任 星野 英子</p>	<p>13 : 15～16 : 30 (3) 実習 1 : プールでの安全な介助方法 プールでの動き方の基本① 前 掲 覚張 秀樹</p> <p>17 : 15～ 懇親会 (希望参加)</p>
5/26 (木)	<p>9 : 00～11 : 00 (2) プールにおける療育的アプローチ 1. プログラムの理解 2. グループ指導 3. 指導者・介助者の役割 4. 重症心身障害児・者へのアプローチ 心身障害児総合医療療育センター 理学療法係長 増淵 順恵</p> <p>11 : 10～12 : 30 (1.5) 知的障害児・発達障害児の水中運動指導 心身障害児総合医療療育センター リハビリテーション体育指導員 藤村 和也</p>	<p>13 : 30～16 : 30 (3) 実習 2 : プールでの安全な介助方法 プールでの動き方の基本② 実習 3 : 重症心身障害児・者のプール指導 前 掲 増淵 順恵 心身障害児総合医療療育センター 理学療法主任 鈴木 ほがら 理学療法主任 吉澤 尚史 理学療法士 下田 由美子</p>
5/27 (金)	<p>9 : 00～11 : 00 (2) 安全にプール活動を楽しむために - 医療的諸問題- 心身障害児総合医療療育センター 外来療育部長 米山 明</p> <p>11 : 10～13 : 00 (2) 地域におけるプール活動の展開 スマイル訪問看護ステーション 理学療法士 直井 寿徳</p>	<p>14 : 00～16 : 30 (2.5) 実習 4 : 長期継続児のプール指導 前 掲 覚張 秀樹</p> <p>終了</p> <p>*希望者は 17:00 まで実習 4 を見学可能です</p>

\*講義資料として「障がいのある子どものプール療法」(日本肢体不自由児協会刊) 使用します。

\*着替えは療育研修所宿泊施設内浴室を使用していただきます。脱水機はあります。研修所とプールとの往復には水着の上に 1 枚着てください。履物はサンダル等を各自でご用意ください。

第13回 障害児者のプール指導講習会 受講申込書

ふりがな	
1. 氏名	S・H 年 月 日生 才男・女
〒	TEL
2. 現住所	宿泊者：携帯
3. 職種	職位 現在の職場での経験年数 ( ) 年
4. 健康状態 (受講に際して。又、プールに入るにあたり必要な援助等)	
5. 宿泊の希望 A) 研修所宿泊希望 5月 日 から 5月27日 17時30分 まで ( ) 泊 B) 個人で用意するので不要 (通講、個人で用意する事を含む)	
6. 今回の講習会参加にあたっての、貴方の課題 (プログラムも参考にご記入下さい。名簿に掲載します)	
7. 「水泳指導・プール活動」に関するこれまでの経験・携わる予定の活動について  過去に受けた講習会「 _____ 」主催者 _____ 講習期間 _____  参加活動の対象 (○で囲む) : 幼児・学童・成人、個別活動・集団活動、 健全児者・肢体不自由児・身体障害者・重症心身障害児者	
8. 懇親会 (5月25日 17:15~18:45 会費は1,500円位) ( ) 参加 ( ) 不参加	
9. 領収書の宛名 (無記入は施設名で用意します)	請求書 要・不要

上記の者を受講させたく申し込みます

平成 年 月 日

〒  
施設住所  
電話番号  
Fax 番号

施設名  
施設長名

印.

心身障害児総合医療療育センター  
所長 北住 映二 殿

(研修所記入) 受付日 \_\_\_\_\_ 受付順位 \_\_\_\_\_